

1. はじめに

私は英語とアメリカ文化を学ぶ事を目的に、8月～12月の約四か月間セントラルミズーリ州立大学に通いました。とても貴重な体験をさせて頂き、四か月間の日常の出来事すべてが勉強になる毎日でした。その中でも印象に残ったことを4つ紹介します。

2. 大学の寮生活

私は大学内に10ほど種類のある寮の中の、**Nattinger Hall**という寮の四階に四か月間住みました。階にはフロアリーダーがおり、定期的にフロアミーティングなどがありました。私たちはミーティングがある事に張り紙をちゃんと見ていなかったため気づかず、罰金を取られそうになりました。

3. 食事

毎日の食事は、大学内に5つ程ある学食で食べることが出来ました。学食はビュッフェスタイルで、ハンバーガーやポテトはもちろん、中華やデザートまでとても充実していました。学生証を見せるだけで一日何回でも入ることの出来る、食べ放題プランでした。そのため私は朝ごはんにはポテト、昼ご飯にはポテト、授業の合間にポテトとたまにソフトクリーム、夜ご飯にはポテト、持ち帰りボックスに持ち帰って部屋でポテトという生活でした。健康に悪いことは自覚していましたが、そこで働いている方の揚げるポテトがとても美味しく、ポテトを食べることをやめることが出来ませんでした。

4. 授業

月～木まで授業がびっしり詰まった生活でした。午前の授業は英語のスキルを上げる事を目的とした授業で、午後は、アメリカ文化や歴史を学ぶ授業でした。私たち日本人は小学校からの学生生活で授業は静かにまじめに聞くようにと教え込まれてきました。そのため英語にも自信のない私は、授業中に声を出して気持ちを伝えるというとても簡単なことに苦戦をしました。教えてくださる先生が私たちの静けさに苦笑いをする度に、申し訳なさでいっぱいになりました。ですが、留学リーダーである菜乃花さんがこのままではだめだから、みんな頑張ろうと声をかけてくれて、そのあとから少しずつですが、積極的に発言出来るようになりました。

5. サンクスギビングブレイク

サンクスギビングの休みを利用して私はフロリダのディズニーワールドへ行きました。海外のディズニーへ行けるとは思ってもいなかったのが夢のような体験でした。夜のショーを見て、アメリカらしくド派手に打ちあがる花火とプロジェクションマッピングの綺麗さに圧倒され、忘れられない記憶となりました。

6. おわりに

私は、貴重な経験をして沢山の事を学び、留学をしてよかったと心から思いました。アメリカで出会った先生や友達、そして思い出は私の一生の宝物になりました。英語を学んだだけでなく、改めて日本語を見つめなおす機会にもなりました。私の留学に携わってくださった全ての方に感謝をしたいと思います。